

デザイン3賞を受賞

山鹿市の廃校活用施設「YAMAGA BASE」が、第43回ディスプレイ産業賞、第58回日本サインデザイン賞、第18回キッズデザイン賞を受賞した。



同施設は、千田小学校跡地を活用し、コワーキングスペースや宿泊施設など多様な機能を持つ複合施設として今年4月に開業した。スペース（本社東京都）が設計・施工を担当。山鹿灯籠職人による灯籠照明や来民団扇など、山鹿の魅力を感じられるデザインが施されている。

日本ディスプレイ業団体連合会が主催するディスプレイ産業賞は、120作品の応募の中から、優れた空間を実現したとして同プロジェクトを含む6作品が優秀賞を受けた。日本サインデザイン賞は、サインデザ

山鹿市の廃校活用施設 「YAMAGA BASE」

スペースが設計施工

インに関する国内唯一の顕彰事業で、応募337作品の中から入選した。子どもに配慮した空間などが選ばれるキッズデザイン賞は、409作品の応募の中から受賞した。

今回の受賞について、同施設のプロジェクトプランナーでスペース大阪本部営業部の三木大輔第1課長は「今回のプロジェクトが、このように多くの社会的評価を頂けたことをメンバー一同大変光栄に思っています。YAMAGA BASEから生まれる様々な挑戦とイノベーションが日本再興に資する取り組みとなることを期待しています」とコメントした。